



主題「明日につなごう、未来につなごう ワイズの灯」

副題「今、私たちにできること」

東日本区理事 原 俊彦

スリランカの国内政情不安から一時、大会開催さえ危ぶまれていた「第23回アジア地域大会」および「ユースコンボケーション」は、何れも例年と比べ小さな規模とはなりましたが、むしろ小規模であった為に、和やかで温かみのある素晴らしい大会となりました。東・西日本区からの参加者も、さまざまな思い出を胸に無事に帰国いたしました。

本年度の部会の先頭を切って「北海道部会」が8月22日(土)札幌に於いて開催されました。

今年の部会に於ける共通テーマ「2010年横浜大会」の成功に向け、共に心を一つにしましょう!

暑い暑いと悲鳴をあげていた季節ともようやく別れを告げ、快適で爽やかな季節がもう直ぐそこまで来ています。さあもうひと踏ん張り、皆さん元気で残暑を乗り切りましょう!

3-1 強調月間 ユース

ユース事業はYEEP・STEP・YIAの3事業からなっています。YEEP・STEPはコメントの派遣・受入を通して、国際交流を図るすばらしいチャンスです。YIAは国際ユースコンボケーションにユースを派遣、ユースボランティア・リーダーズフォーラムの開催。ユースクラブの支援、ブルタブの収集等々多岐にわたってユースとの関わりを強める事業です。

東日本区が最も力を入れているユースプログラムであるユースボランティア・リーダーズフォーラムが9月25日から開催されます。重ねてのご支援をお願い致します。

(ユース事業主任 長津 徹)

3-2 アジア地域大会報告

第23回アジア地域大会は、7月31日(金)から3日間に亘ってスリランカのコロomboで開催されました。国際議会も同じスリランカで大会直前に開催されたため、国際会長や国際議員も多く参加しましたが、それでも総数は約230名でした。その中で、日本からの参加者は総勢で52名(内訳は、東37名、西15名)と最大グループで、横浜国際大会を力強くアピールいたしました。大会のハイライトは、IEOの就任式で藤井次期国際会長、AEOの就任式で高田次期アジア会長が、共に正式就任されたこと、横浜クラブがトライアングル・IBCを締結されたことなどでした。また、この大会と並行して開催された「ユースコンボケーション」の参加者も極端に少なく、総勢で22名(日本からの参加者は東3名、西2名)でしたが、密度の高い交流がなされ、

実り多い集いとなりました。2011年のアジア大会は台湾で、2012年の国際大会はノールウェーで開催されることが発表され、台湾からは早くも次回大会のアピールがありました。コロomboが終わって、さあ一次の国際舞台は横浜です。

心を一つに大会の成功に向かって頑張りましょう!

3-3 2008-2009年度エルマー・クロウ賞が決定

コロomboで開催されたアジア地域大会に於いて2008-2009年度のエルマー・クロウ賞の発表があり、東日本区からは、中田千鶴北海道部部長と、堀井堯東新部部長のお二人が受賞されました。

おめでとうございます。

また新入会員獲得に多大な貢献のあったワイズメンに送られるブースター賞には以下の8名の方が受賞されました。

中田千鶴さん(札幌クラブ)、山田敏明さん(十勝クラブ)、持田二郎さん(東京クラブ)、浅見クミ子さん(東京グリーンクラブ)、呉屋良文さん(沖縄那覇クラブ)、阿蘇淳さん(金沢八景クラブ)、久保田康正さん(伊東クラブ)、木村朗さん(御殿場クラブ)おめでとうございます。

3-4 部会シーズンスタート

部会シーズンの先陣を切って、北海道部会が8月22日(土)札幌ノースシティホテルに於いて開催されました。参加者はゲストを加えて27名でしたが、和気藹々とした和やかな部会でした。なお、部会の前に開かれた評議会に於いて、国際大会参加支援、2000プロジェクト新クラブ設立支援のために、

それぞれ20万円づつを部のファンドから支出する、という積極的な決議がされました。

今後の予定は以下の通りです。横浜国際大会、第13回東日本区大会のアピールのための時間を取って頂くこととなりますが、ホストクラブの皆様、よろしくお願い致します。

北東部：9月5日(土) 会津・東山温泉
関東東部：9月12日(土) 我孫子市生涯学習センター
東新部：10月10日(土) 在日本韓国YMCA
あずさ部：10月17日(土) 西湖公民館
湘南・沖縄部：9月26日(土) ワークピア横浜
富士山部：10月4日(日) 三島・ブケ東海

3-5 台湾の台風被災に対して、アジア地域から5000ドル支援

8月5日台湾南部を襲った台風(Morakot)は、山間部に甚大な被害をもたらしました。その被災額は、1999年の地震災害より大きいと報道されています。台湾のワイズメンは、家族を失った子どもたちの救済活動を主体に、救援チームを組織して活動を開始しています。台湾区からの要請に応じて、Chonアジア会長は自然災害緊急支援基金(NDERF)から5000ドルを支出することを決定し、実行されました。東日本区としての取り組みは、日本YMCA同盟と協働して行うことを検討しています。詳細が決定次第、別途通知いたします。

3-6 横浜国際大会第2次参加者予測調査

昨年11月、横浜国際大会への参加見込み数に関し、第一回目の調査を実施致しましたが、回答頂いたクラブは全体の半分にとどまっており、実態を把握するには十分ではありませんでした。

また、国際を取り巻く環境がより厳しさを増し海外からの参加者が当初の見込みよりかなり減少する事が予想される為、如何に東・西日本区の参加者を確実なものとするかが大会成功の必須条件となってきました。今回は、各部の部長を通じ、クラブに具体的な参加人数の予測を調べて頂く事により、更に確実な、そして実数に近い参加人数を把握したいと考えて居ります。なお、報告の締切は8月31日となっています。ご協力のほどお願い致します。

3-7 (仮)沖縄ワイズメンズクラブ設立総会延期

先に(仮)沖縄ワイズメンズクラブの設立総会を9月1日(木)とご連絡いたしました。が、(仮)沖縄クラブの事情により、9月7日(月)に延期になりました。

なお、チャーターナイトにつきましては、当初の予定通り11月7日(土)に開催いたします。

3-8 第22回ユースボランティア・リーダーズフォーラムの開催と見学者募集

長津ユース事業主任の強調月間アピールにもあるように、9月25日(金)~27日(日)までの3日間、東京YMCA山中湖センターに於いて第22回ユースボランティア・リーダーズフォーラム(実行委員長・篠田秀樹)が開催されます。

ご存じの通り、このプログラムは東日本区独自のものであり、国際にも誇れる大変意義のあるものです。皆様のクラブからの拠出された資金を基に運営されていますので、その実態を見に、ぜひ多くのワイズの皆さんに参加(見学)して頂きたいと思えます。

見学を希望される方は、クラブ会長に申込書が配布されていますので、9月11日(金)までに申し込んでください。なお、「部分見学」も大歓迎です。

3-9 クラブ・オリジナルフラッグの制作

先月の理事通信でもお願いしましたが、本年度の重点目標の一つ「クラブ・オリジナルフラッグの制作」に関し、まだ原稿を提出されていないクラブは、至急東日本区事務局までお送り下さい。

各クラブとも資料集めに奔走されている段階かと思いますが、できれば部会までに全クラブのフラッグが出そろう会場内に掲出できるよう準備の程よろしくお願い致します。既に、制作済みおよび原稿提出済みのクラブは、下記の通りです。

北海道部：札幌・北見・札幌北・十勝

北東部：なし

関東東部：柏・茨城・所沢・東京グリーン

東京ひがし

東新部：東京・東京目黒・信越妙高・

あずさ部：東京山手・東京西・東京武蔵野多摩

東京サンライズ・東京八王子・甲府21

東京たんぼぼ・富士五湖

湘南・沖縄部：横浜・沖縄那覇・横浜とつか

富士山部：湯河原・三島・下田・熱海グローリー

御殿場・富士

3-10 8月の入会は以下の6名の方々です

信越妙高：山下 稔さん。

金沢八景：手塚景子さん、築山ルールさん、

浦畑輝司さん、佐藤五郎さん。

東京たんぼぼ：高橋宏子さん。